学校番号	407

令和８年度　芸術〔書道〕科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（教育図書）						
副教材等	必要に応じ、独自教材を授業担当者が作成して配布						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「書道Ⅱ」で学習したことの確実な理解を図ると同時に、さらなる応用・発展をめざします。
　１．継続して使用する書道用具・用材を更に工夫して使うことにより、より多様な書道表現の実現を図ります。
　２．書く言葉と書道表現との関係をより積極的に考えるための学習方法と学習機会を提供します。
　３．“感謝”の気持ちを表す自分自身の言葉を作り、これを自分自身の筆によって書道作品として制作する機会を設定し、実施する予定です。
　４．書き言葉としての文字は正確に書くことが必要になるため、「書道Ⅰ」で学習した「平仮名」の字源漢字および筆順を完全習得すること、「片仮名」の筆順を完全習得することを行います。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創作活動を通じて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ガイダンス・書道Ⅰの確認	オリエンテーション 授業を受けるに際して 確認小テスト ①平仮名筆順 ②平仮名字源漢字 ③片仮名筆順 硬筆実用書式 ①はがき･封筒宛名書き ②手紙文書写	a:１　配付教材に板書、口頭説明を適切に記録することができるか a:２　確認小テストを実施するにあたり、①・②・③について正確な理解を図るために補助教材を配付 c:確認小テストの結果は各自で記録して分析するように指導し、次回の得点が今回を上回るようにすることを目標として設定することを指導する	配付教材への記入と確認		確認小テストの結果と振り返り、具体的目標設定の記入
	「漢字の書の学習」草書の学習　十七帖を臨書する	1. 書体について 2. 草書とは 3. 単体と連綿 4. 十七帖について 5. 臨書とは 6. 法帖の見方･書き方 7. 実習 ①籠字を取ることで文字の概形と点画の特徴を学ぶ ②細字で対象部分全体を臨書する ③大字で対象部分全体を臨書する ④大字で連続する14文字(または16文字)を臨書する ⑤④で臨書したものを半切画仙紙に臨書する	a:草書体を含む漢字の書体への理解を深め、草書体の特徴や学習する「十七帖」の内容および書きぶりの特徴について興味・関心を持つことができるか b:「十七帖」の特徴を実際に臨書することを通じてとらえることができるか ①では点画の形から筆遣いを理解し、実際に書くことができるか ②では全体としての大小や太細の違いを理解し、実際に書くことができるか ③・④・⑤では①、②に加えて、拡大して書くことによる筆遣いの大胆さや用墨法を理解して書くことができるか c:②・③・④・⑤それぞれの実技実習後に振り返りを行い、次時の実技実習に生かすことができるか	配付教材への記入(板書、追加記入)	実技提出物および配付教材への記入	実技提出物取りまとめの際に行う振り返りシートへの記入

1学期	篆刻の学習	篆刻の学習1. ①篆刻について ②刻印する文字の検索・書写 ③刻法の確認	a:①篆刻について興味・関心を持つことができたか a:②検字（漢字篆書体）の過程で字書等を活用することができたか b:③刻法に応じた印稿を適切に選択して作ることができたか c:印稿は完成した姿を的確に思い描いて作成することができたか	配付教材への記入と確認	配付教材への記入と確認	配付教材への記入と確認
	小テスト	1. 第１回小テスト ①平仮名筆順 ②平仮名字源漢字 ③片仮名筆順	a:確認小テストの際に配付した①・②・③対応の補助教材を用いて得点を向上させることができているか c:確認小テストの結果を比較して解答結果の分析と振り返りを行い、次回に向けた努力目標の設定を行うことができているか	小テストの採点結果確認と誤答問題の正答訂正 ケアレスミスの確認		振り返りシートによる採点結果の分析を踏まえた次回の目標設定記入
2学期	篆刻の学習	篆刻の学習2. ①印稿の作成と確認 ②印材磨きと転写準備 ③原寸印稿の確認	b:①完成状態を正確に予想して印稿を作成することができたか c:②印材への正確な写し取りを行う準備ができるか c:③写し取る印稿を精確に作成することができるか		配付教材を回収し手順に従って取り組むことができているか	配付印材の適切な磨き上げと印稿の正確な貼り付けを確認

2学期	「漢字仮名交じりの書」の学習	1.「書道Ⅰ」で学習したことの振り返り 2.「書道Ⅱ」で学習する意義とその内容 3. 作品としてよりよく表現するために ①用筆法 ②運筆法 ③執筆法 ④用墨法 ⑤布置・章法 ⑥用紙の変化 4. 作品選択と作品批評	a:１．および２．すでに学習したことがらの再確認を行い、これを基礎・基本として応用・発展的に学習することを確認する b:２．基礎・基本内での組み合わせや応用・発展させるための考え方、実際の取り組みについて制作者自らで発案・工夫する必要性があることを確認する c:３．参考とするべきことがらを①から⑥に項目建てて提示し、ここに学習者自らの工夫を加えて作品として制作することができているか c:４．書き残した作品から自身の考える表現として若干枚を選択し、学習者間で互評会を実施ここから得られた他者の意見・感想を受け止め、より良い作品表現に向かうことができるか	配付教材への記入 制作記録の作成	作品制作記録への具体的発案や工夫の記入	作品制作記録と提出作品 次時Jに向けた目標設定の記入とその振り返り 互評会で得られた批評・感想を活用するための目標設定の追加記入
2学期	篆刻の学習	篆刻の学習3. ①印稿の印材への転写 ②刻印 ③押印 ④補刀 ⑤再押印 ⑥完成	a:①正確に転写することができたか ②転写印稿に従って刻印することができるか ③刻印後、適切に押印することができるか b:③で生じた不備を④・⑤で補い、より良い状態にすることができるか c:⑥とするために⑤までの工程で不満足と判断した場合、再挑戦して充実させることができるか	印材への転写状況の確認 刻刀法の確認	押印の結果を踏まえ、適切な補刀ができるか	最善もしくは次善の状態にすることができるか

2学期	小テスト	第2回小テスト ①平仮名筆順 ②平仮名字源漢字 ③片仮名筆順	a:１．第１回小テストの結果をさらに向上させるため、補助教材をどのように用いれば得点を向上することが理解できているか a:２．確認小テスト、第１回小テストを通じて、学習状態やケアレスミス防止について工夫しているか c:確認小テストの結果を比較して解答結果の分析と振り返りを行い、次回に向けた努力目標の設定を行うことができているか	小テストの採点結果確認と誤答問題の正答訂正 誤答状況の確認と具体的な分析		振り返りシートによる採点結果の分析を踏まえた次回の目標設定記入
3学期	「仮名の書」の学習	1.「書道Ⅰ」で学習したことの確認（振り返り） ①単体 ②連綿 ③言葉として連綿する 2. 平仮名に置き換えた文章を書写 ①行書き ②連綿と墨継ぎ ③平仮名と変体仮名 ④まとめ 3. 作品の選び出しと提出 4. 批評会	a:１．は既習事項であり、重要事項として扱うことを確認 b:２．①平易な書写様式が理解できているか b:２．②正しい筆順による連綿が実現できているか、 b:２．③変体仮名を理解することができているか c:３．限られた枚数の料紙を適切に使うために誤字・脱字なく書写し、作品としての美しさを表現するためのことがら全般について、理解され、実現できているか c:４．批評会において、適切な作品を選択・提出し、他者の作品を含めて適切な内容で「批評・感想用紙」にまとめることができたか	配付教材への記入 作品制作記録用紙への記入	提出作品、振り返り用紙への記入を通じた課題点や目標設定などの記入	批評会用紙に記入した、自作品への意見・感想、他者の作品に対する批評
3学期	小テスト	第3回小テスト ①平仮名筆順 ②平仮名字源漢字 ③片仮名筆順	c:最終回として得た①・②・③の得点が第１回、第２回実施分を上回ることができたかについて、ここまでに至る独自に工夫した学習の方法の振り返りを含めて振り返る			振り返りシートによる採点結果の分析を踏まえた1年間の成果と反省点などを記入提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度